

ドイツの歴史あるオーケストラが奏でる《運命》

シュトゥットガルト・
フィルハーモニー管弦楽団

2026年5月25日(月)

午後7時開演(6時15分開場)

武蔵野市民文化会館 大ホール

【チケット発売中】料金(全席指定)

一般:6000円 友の会:5400円

創設100周年を迎えたシュトゥットガルト・フィルが、ドイツを代表するバイオリニストの一人アンティエ・ヴァイトハースと共に登場。東京で唯一の貴重な公演をお聴き逃しなく!



©Stuttgarter Philharmoniker

[指揮] アドリアン・ブラバーヴァ

[バイオリン独奏] アンティエ・ヴァイトハース

[曲目] ベートーヴェン:交響曲第5番作品67《運命》

ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲作品61 ほか

武蔵野市民文化会館 〒180-0006 武蔵野市中町3-9-11

【チケットのお申し込み】

TEL 0422-54-2011

- インターネットからも申し込みできます
- 電話、窓口予約の場合、アルテ友の会に同時入会可能です(年会費1000円)。インターネット予約では同時入会できません



ホームページ



Instagram

夏休みの自由研究にお困りの方必見!
親子でものづくりを楽しみましょう!

夏休み自由研究お助け隊 2026

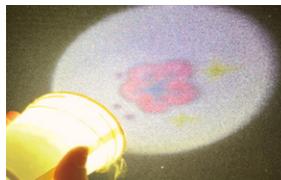
2026年8月2日(日)

①午前10時~正午 ②午後2時~3時

かたらいの道 市民スペース

定員:各24名(計48名) 料金:500円

申込:電話または直接武蔵野芸能劇場受付窓口へ



過去の制作物

武蔵野芸能劇場 〒180-0006 武蔵野市中町1-15-10

TEL 0422-55-3500

※水曜日は休館日
(祝日の場合は翌日)



ホームページ



Instagram

大洲大作 焦点の彼方

2026年4月18日(土)～5月31日(日)

休館日 | 4月30日(木)、5月27日(水)

主催 | 武蔵野市立吉祥寺美術館 [(公財)武蔵野文化生涯学習事業団]

協力 | eitoeiko、株式会社イーティックスデータファーム、
上毛電気鉄道株式会社、株式会社高田産業

アーティスト・大洲大作^{おおず だいさく}(1973年生まれ)は、“うつる／うつす”ことを主題とし、写真表現を軸に、人の営みを光と影で捉え直す取り組みを続けています。

列車の車窓から“みる／みえる”風景を“うつす”《光のシークエンス》、水路や川の水面の光と影をストレートな写真で捉えた《flow/float》、円環状の線路を回りつづけるミニチュアの列車と、その様子を撮影し投影する《Loop Line》など、“みる／みえる”こと、ひいては存在するということの根源を問う大洲の作品は、個展や芸術祭などでの展示を通して、高い評価を得てきました。

本展は、写真プリント、映像として投影される写真、レンズなど、“うつる”と“うつす”の両義をもった作品を並置して構成します。初公開となる最新作は、玉川上水、千川上水、京王井の頭線、JR中央線、そして武蔵野市の戦争の記憶である中島飛行機武蔵製作所跡地などを撮影の場としています。

大洲の写真に“うつる”のは、今この瞬間に“みる／みえる”光と影であると同時に、今この瞬間を支える過去という永遠であり、次の瞬間に到来し、立ちあらわれるものの予感です。焦点が当たるところと、その先にあるもの、いうなれば焦点の彼方をも、大洲は“うつして”いるのです。

大洲大作が捉え、写真に“うつした”光と影の像を追いながら、私たち自身の“みる／みえる”こと、すなわち“今ここに在る”ということの意味を、問い直したいと思います。



《flow/float 一日本橋川 錦橋付近 #1》2025 ©Daisaku Oozu

個展「Loop Line」展示風景 2022 (会場: eitoeiko)
©Daisaku Oozu

 武蔵野市立吉祥寺美術館

開館時間 午前10時～午後7時30分

休館日 毎月最終水曜日(祝日の場合は翌日)

年末年始、展示替えおよび特別整理期間

入館料 一般300円／中高生100円

(小学生以下・65歳以上・障害者は無料)

交通案内 JR・京王井の頭線「吉祥寺駅」下車 北口から徒歩3分



〒180-0004

武蔵野市吉祥寺本町1-8-16

FFビル(コピス吉祥寺A館)7階

TEL: 0422-22-0385



ホームページ



X(旧Twitter)



フェイスブック